

令和6年9月10日
国土交通省関東地方整備局
港湾空港部

「釣り文化振興モデル港 館山港」指定証の交付式を開催します ～「釣り」を通じて館山港を活性化～

国土交通省港湾局では、令和6年8月7日に、港湾における釣り施設や既存の防波堤の活用により地方創生を図る「釣り文化振興モデル港」として館山港を指定したところです。

この度、9月21日（土）に、館山港「釣り文化振興モデル港」指定証交付式を開催しますのでお知らせいたします。

※「釣り文化振興モデル港」の概要については、別紙－1、2を参照ください。

開催日時：令和6年9月21日（土）13時～

場所：千葉県館山市館山1564-1 “渚の駅”たてやま
（晴天時）館山夕日栈橋基部
（雨天時）“渚の駅”たてやま 展望デッキ下スペース

出席者：森正一館山市長、衛藤謙介関東地方整備局副局長 他

<取材について>

取材をご希望の方は、別紙－3の取材申込要領により、事前にメールでお申し込み下さい。

取材申込〆切：令和6年9月19日（木）17時

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 横浜海事記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課

電話：045-211-7420 メールアドレス：pa.ktr-kaikanka2@mlit.go.jp

課長 遠藤（えんどう）（内線：5740）

課長補佐 佐々木（ささき）（内線：5741）

【釣り文化振興モデル港】館山港

館山港 多目的栈橋、2号防波堤



国土地理院地図(電子国土Web) (<https://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成

【基本情報】	
港湾名	館山港【地方港湾】
協議会等	館山港UMIプロジェクト検討会 みなとアメニティワーキンググループ
対象港湾施設(候補地)	多目的栈橋、2号防波堤
港湾管理者	千葉県
指定日	令和6年8月7日

【主な取り組み】

安全対策や地域振興策等を関係機関と調整し、釣り文化振興を図る。

<多目的栈橋>

- ◆ ルール・マナーの啓発
- ◆ 釣り大会・釣り教室等の実施(随時)

<2号防波堤>

- ◆ 釣り場としての活用方策について、具体的な検討及び関係機関との調整を行う。



釣り開放場所(多目的栈橋)



釣果(2号防波堤)

「釣り文化振興モデル港」の概要

国土交通省港湾局は、観光資源としての港湾における釣り施設や既存の防波堤等の利活用を進めており、地域の関係者による地方創生を目的とした釣り文化振興の取組が進められている港湾を「モデル港」として募集し、「釣り文化振興モデル港」として指定。

○モデル港の指定要件

- ・ 釣りによる地域創生・地域活性化を図るといった地域の意向があること。
- ・ 釣り客の需要が一定程度見込まれること。
- ・ 釣果が見込まれる防波堤等の港湾施設があること。
- ・ 地元関係者からなる協議会等が組織されていること。
- ・ 安全対策が十分にとられていること。

○モデル港の応募者

- ・ 地元関係者からなる協議会等

○モデル港への支援策

- ・ 直轄事務所による協議会等の効率的な運営に関する技術的な支援
- ・ 「(公財)日本釣振興会」による安全対策やマナー教育への支援
- ・ 「全国会議」における情報交換・交流
- ・ 国交省港湾局からの情報発信等による広報

【取り組みのイメージ】



防波堤開放

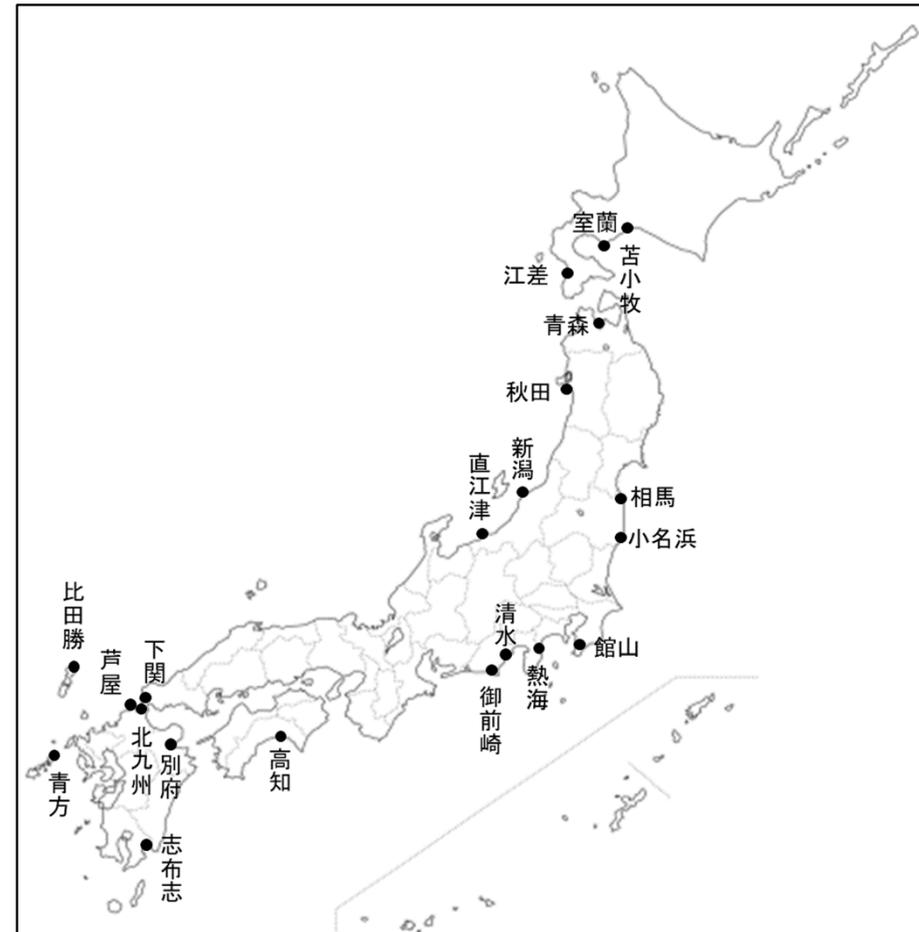


地域密着型の釣り教室



まちぐるみの誘致集客

「釣り文化振興モデル港」位置図



指定港数 21港
(令和6年8月7日時点)

取材申込要領

取材をご希望の方は、下記内容を記載したメールにより、事前にお申し込み下さい。

メール送信期限：令和6年9月19日（木） 17時まで

メール送信先：国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課

メールアドレス：pa.ktr-kaikanka2@mlit.go.jp

<記載内容>

■報道機関名

■取材者

- 1) 代表者
- 2)
- 3)

■連絡先（代表者の連絡先）

（備考）

上記の「■連絡先（代表者の連絡先）」には、取材当日に連絡可能な連絡先を記載してください。

取材当日、変更などが生じた場合に、連絡します。